

低遅延／スケーラー搭載 壁面埋込型コンバータ CWA Series



CWA-DVI-SDI



CWA-RGB-SDI



CWA-NTSC-SDI

ステータス確認／設定ツール CWA Series Remote Control Panel ユーザーガイド (Ver. 2.01)

目次

1. インストール	2
1.1. デバイスのインストール	2
1.2. ステータス確認／設定ツールのインストール	7
2. ステータス確認／設定ツール	7
2.1. アプリケーション概要	7
2.2. ステータス表示(全機種共通部分)	8
2.3. 出力設定操作(全機種共通部分)	9
2.4. アプリケーション終了操作(全機種共通部分)	10
2.5. 画質等の調整操作(機種依存部分)	11
2.5.1. CWA-RGB-SDI 独自の調整項目	11
2.5.2. CWA-NTSC-SDI 独自の調整項目	12
2.5.3. CWA-DVI-SDI 独自の調整項目	13
2.6. エラー及び警告表示について	14
2.6.1. デバイスとの通信エラーが起こった場合	14
2.6.2. 入力信号フォーマットが変更された場合 (CWA-RGB-SDI のみ)	14

1. インストール

ツールを利用するにあたっての準備について説明します。

1.1. デバイスのインストール

本体(CWA Series コンバータ)を USB ケーブルにて Windows PC に接続します。

USB 機器をシリアルポートとして制御する設定を行います。

以降の画面は Windows7 をベースに説明します。

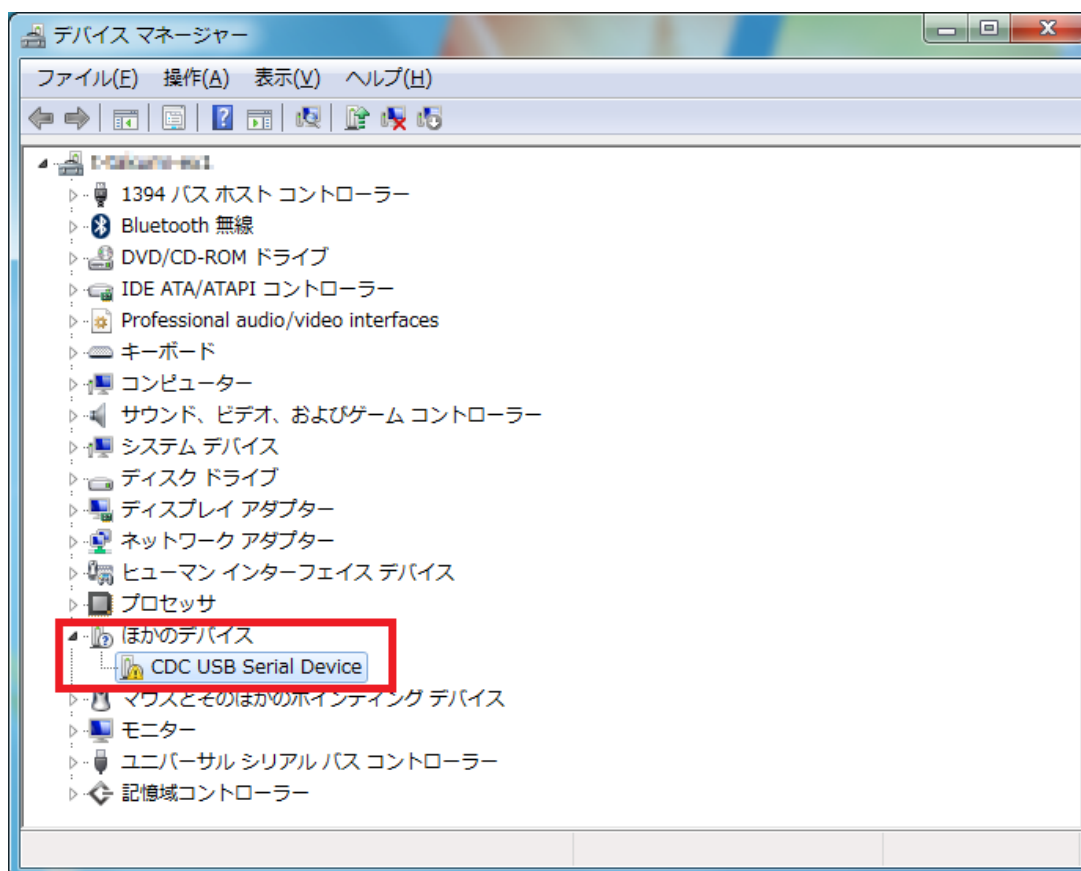
(Windows7/8.1/10 での動作が可能です。)

※Windows10 では標準でデバイスが認識されますので、本節の作業は不要です。

1.2 節へお進みください。

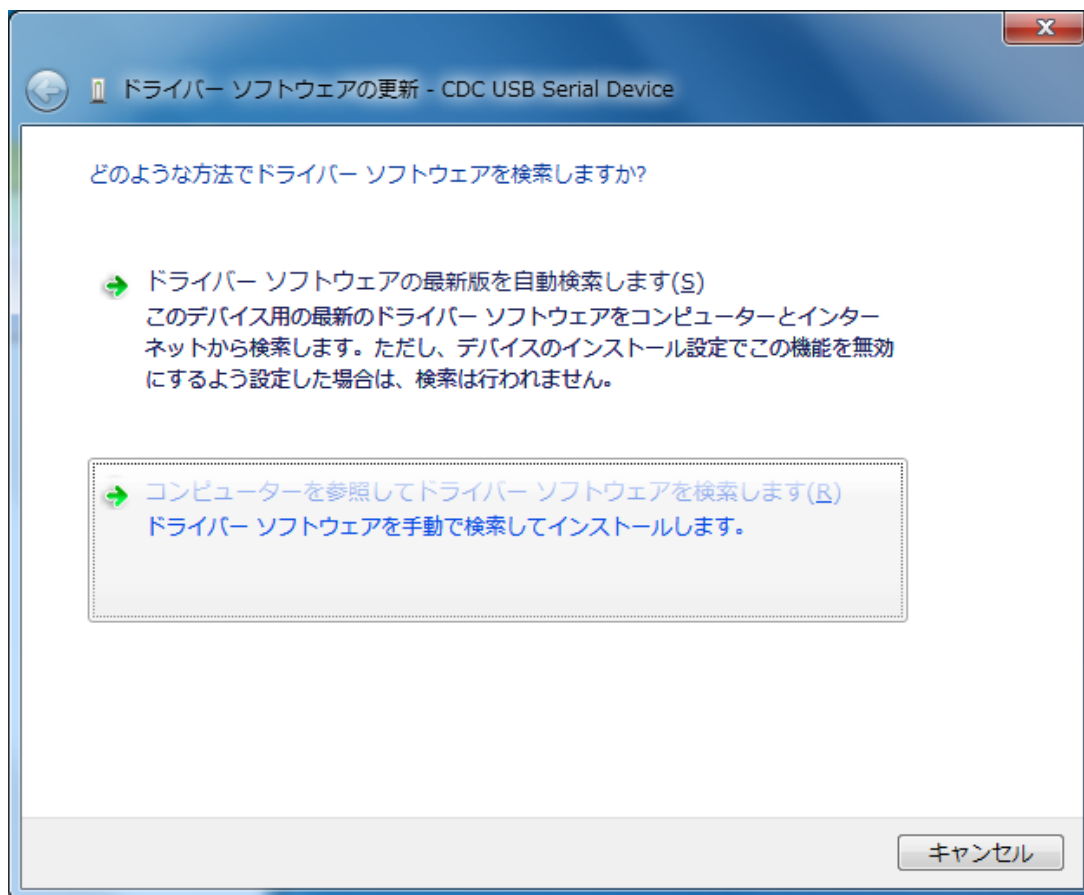
◆ 接続時の状態

本体接続時にデバイスマネージャで確認すると、以下のように不明なデバイスとして表示されます。



◆ デバイスドライバーのインストール

不明なデバイスの上で右クリックして、「ドライバーソフトウェアの更新...」を選択します。



添付の inf/cat ファイルを用いてドライバーソフトウェアのインストールを行います。

CWA-USB_Serial.inf
CWA-USB_Serial.cat

の2つのファイルを任意のフォルダを作成して置いてください。

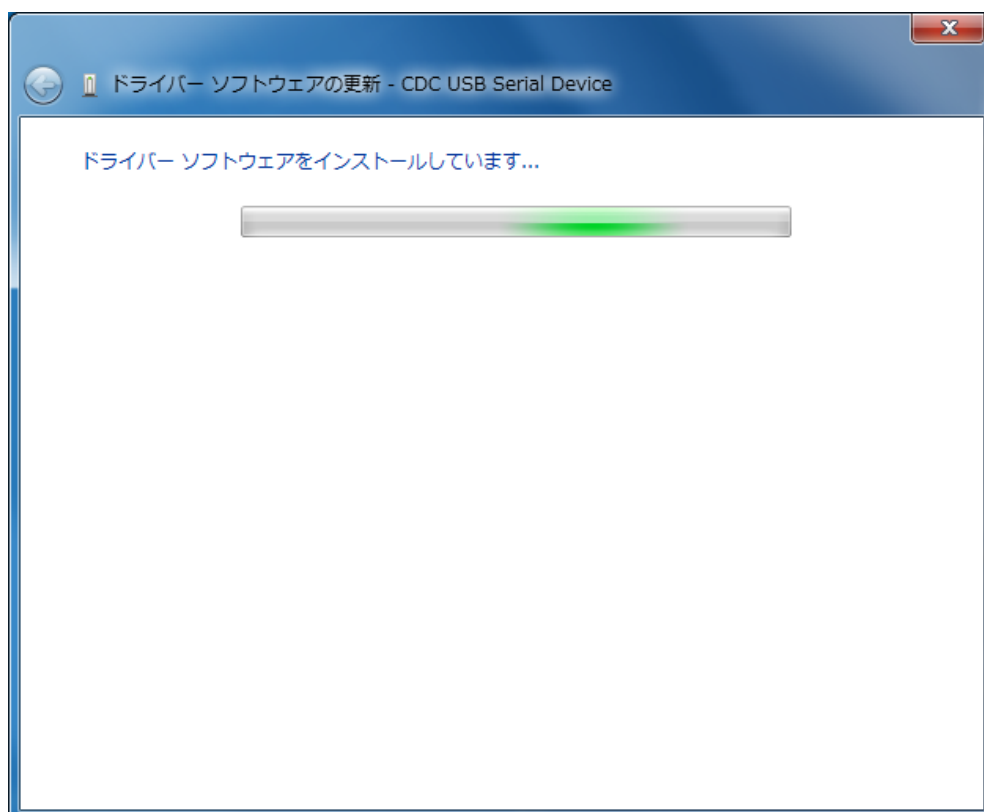
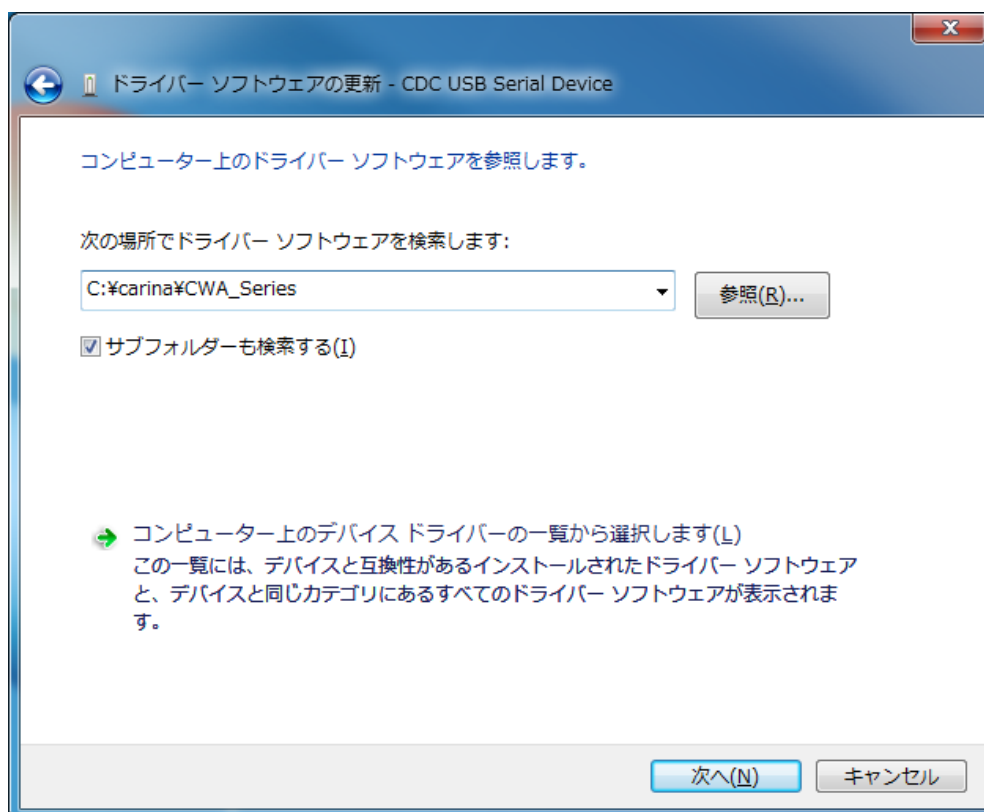
「コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します」
を実行します。

以下はCWA-DVI-SDIを接続した場合の例です。どのデバイスも同様にこの作業を行えます。

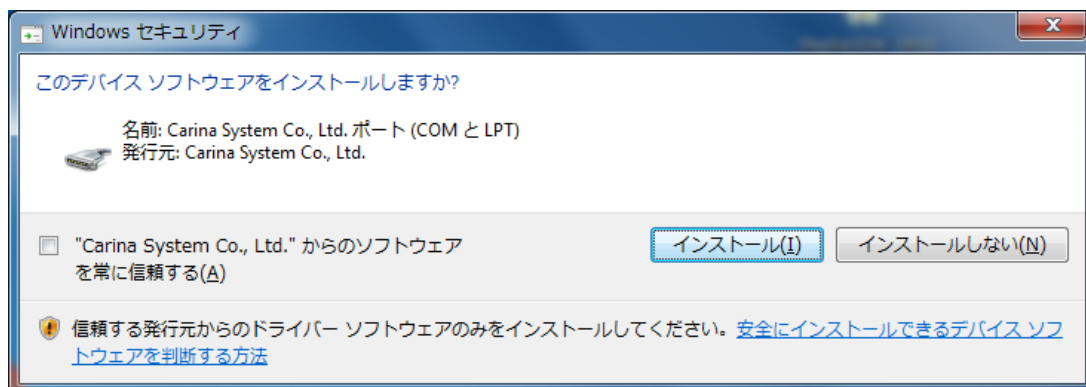
また、1つのデバイスをインストールした後、その PC に他の種類のコンバータを接続する場合は再度この作業をする必要はありません。
例えばこの場合、CWA-DVI-SDI インストール後、CWA-RGB/NTSC-SDI を接続する際は、この作業は必要ありません。接続するだけで認識されます。

CWA Series Remote Control Panel ユーザーガイド

inf/cat を置いたフォルダを指定して次へ進みます。

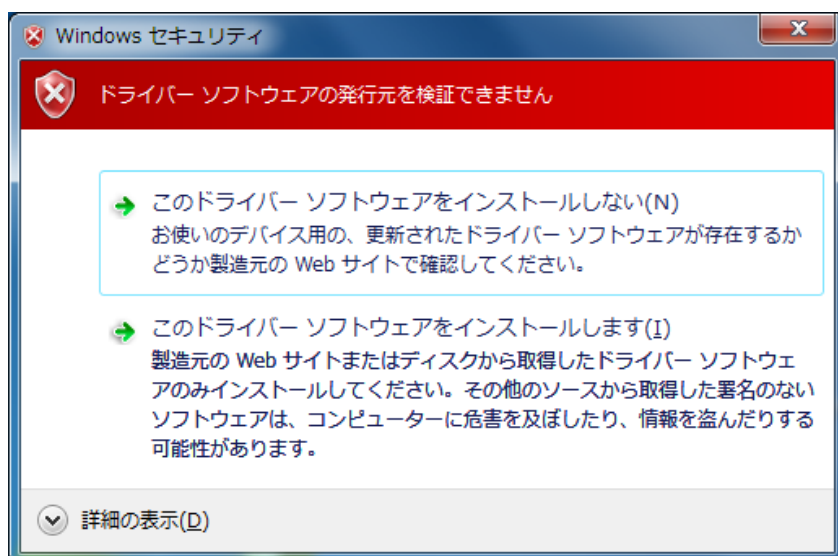


次のダイアログが現れますので、インストールを実行します。

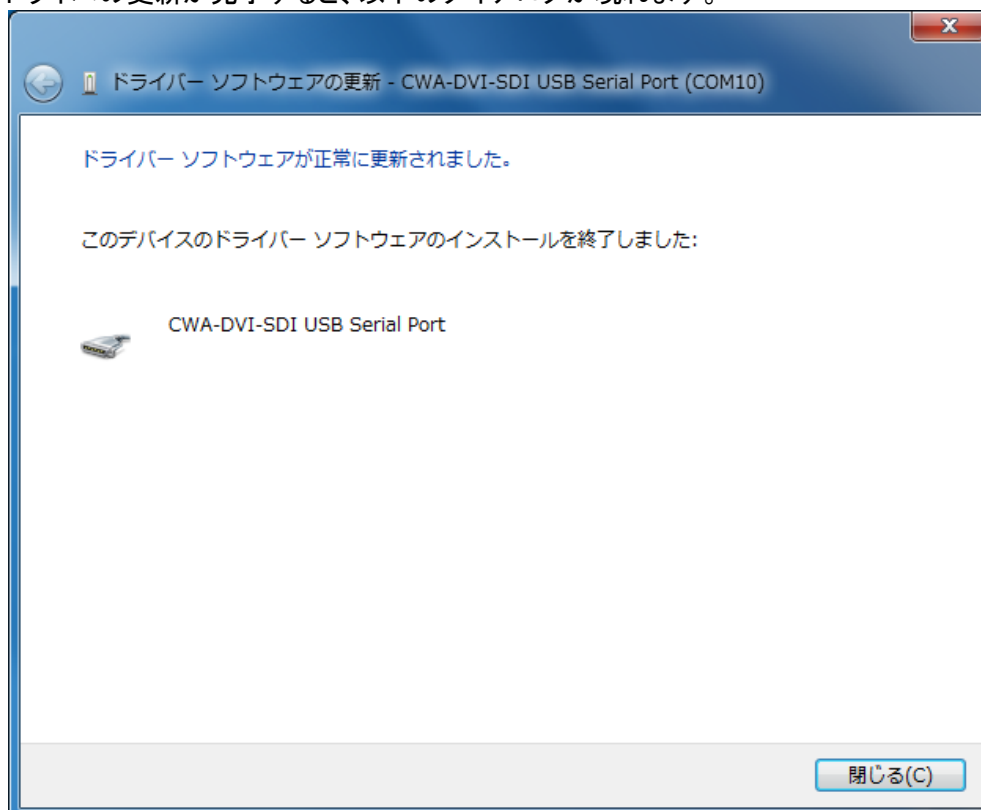


カタログファイル(CWA-USB.Serial.cat)が無い場合、以下のような警告が現れることがありますが、Windows7 の場合はこのまま進めてもインストールできます。

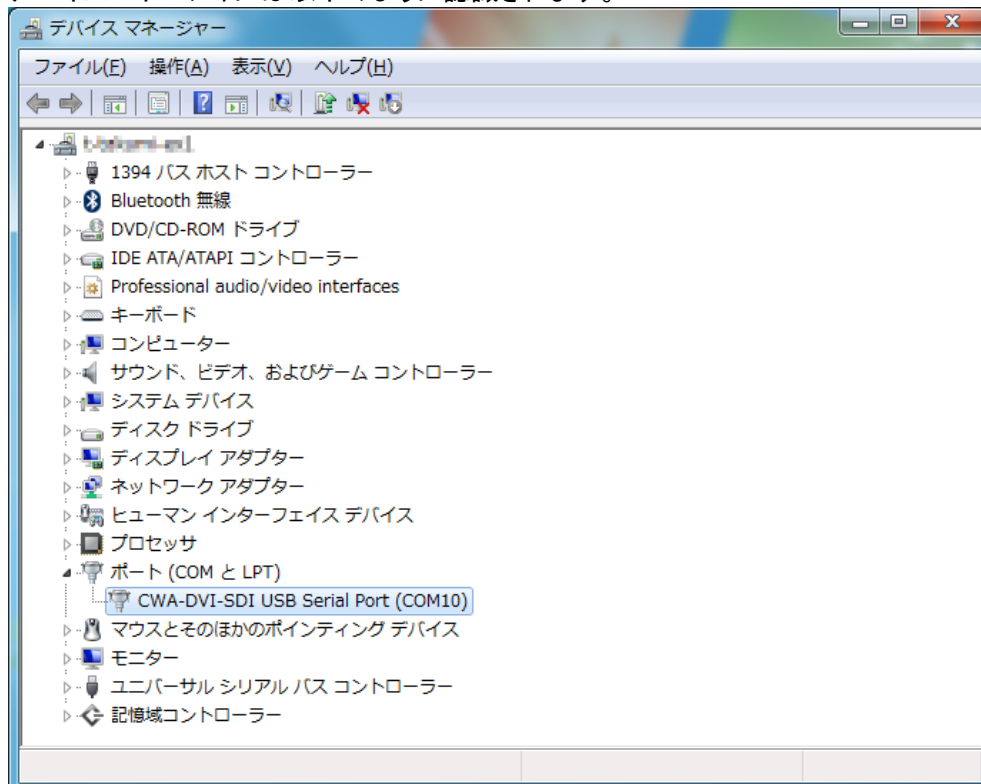
※Windows8.1 の場合はインストールできませんので、カタログファイルも合わせて必要です。



ドライバの更新が完了すると、以下のダイアログが現れます。



デバイスマネージャには以下のように認識されます。



※COM ポート番号は環境によって変わります。

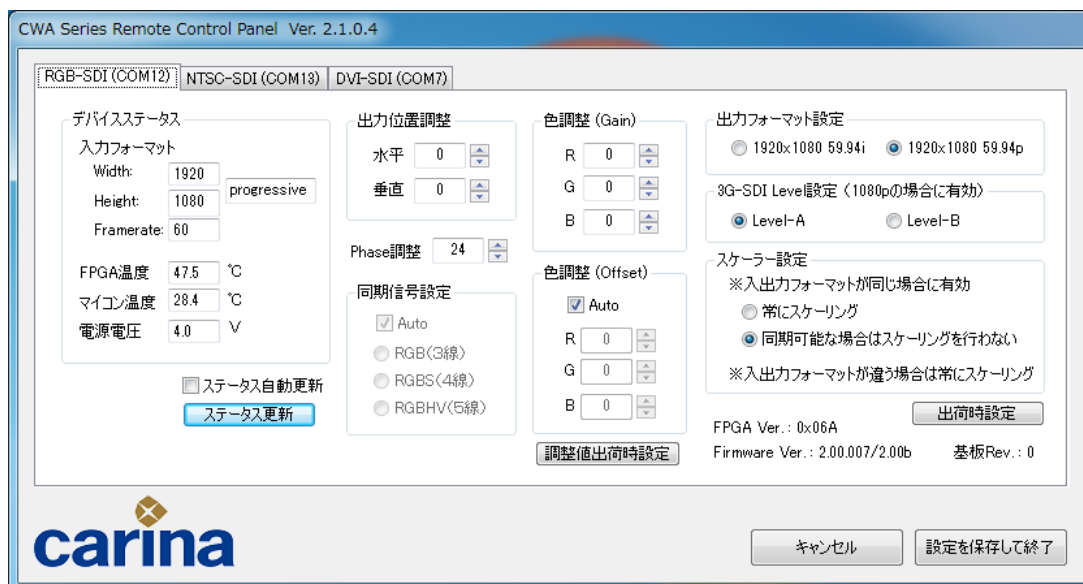
1.2. ステータス確認／設定ツールのインストール

アプリケーションの利用に当たっては特別なインストール作業を行う必要はありません。
添付の RemoteControl.exe を任意のフォルダにコピーしてお使いください。

※アプリケーションの実行には Visual C++ 2010 のランタイム (32bit 版) が必要です。
ランタイムがインストールされていない環境ではまずそのインストールを行ってください。

2. ステータス確認／設定ツール

2.1. アプリケーション概要



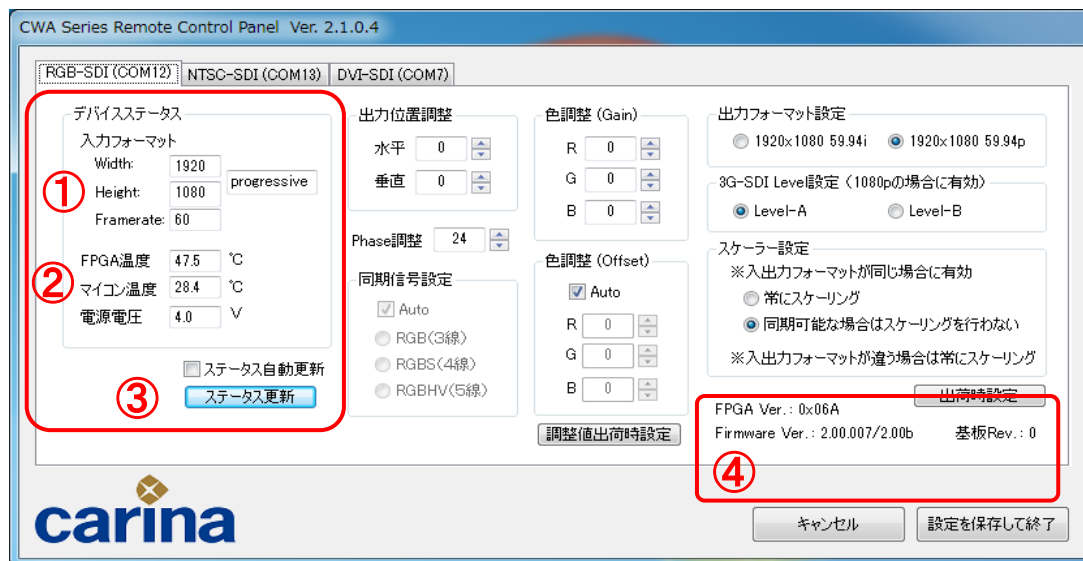
CWA Series コンバータと USB ケーブルを通じてシリアル通信し、デバイスのステータスを取得して表示したり、デバイスの設定を変更して保存することができるツールです。

複数種類及び同種複数個のデバイスの接続が可能です。

ただし、アプリケーション起動時に各デバイスが USB 接続されシステムに認識されている必要があります。(デバイスマネージャに一覧されていることが必要)

各デバイスの設定は上図の例のように、それぞれのタブが表示されますので、当該ページで設定を行います。

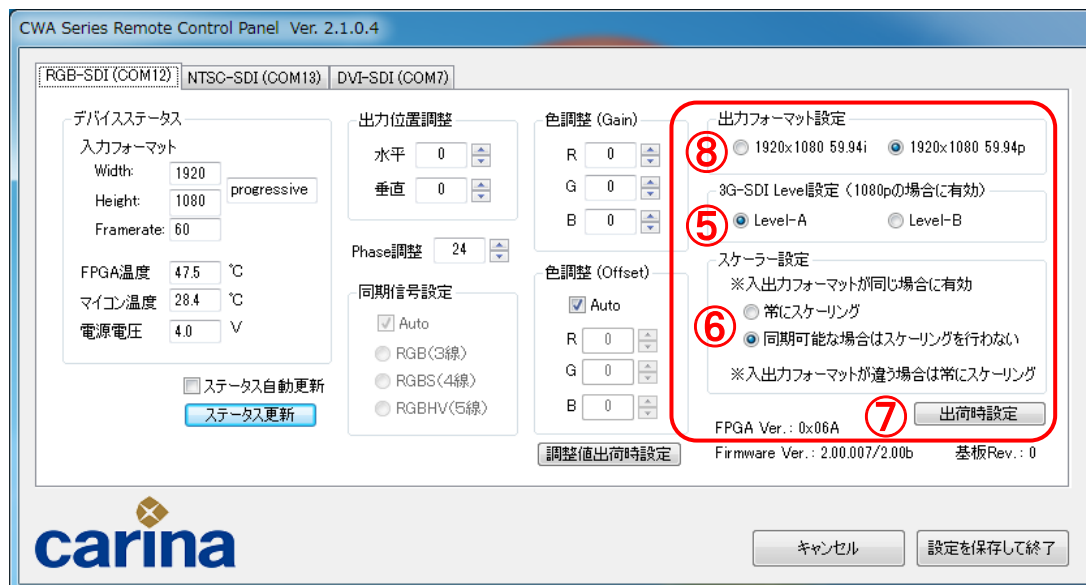
2.2. ステータス表示(全機種共通部分)



- ① 入力ソースのフォーマットを表示します。
- ② 本体 FPGA の温度を表示します。
本体マイコンの温度を表示します。
本体電源電圧を表示します。
- ③ ステータス更新ボタンでデバイスステータスを現在値に更新します。
自動更新にチェックを入れておくと、定期的にデバイスと通信しステータスを更新します。
- ④ 本体マイコンファームウェアのバージョンを表示します。
上図では 2.00.007 がメインマイコン 2.00b がブートマイコンのバージョンを示します

本体 FPGA のバージョンを表示します。
基板リビジョンを表示します。

2.3. 出力設定操作(全機種共通部分)



- ⑤ 出力フォーマットの設定を行います。
- ⑥ 3G-SDI 出力の Level 設定を行います。
1080 59.94i の場合はこの設定項目は無効になります。
- ⑦ スケーラー設定を行います。(CWA-NTSC-SDI にはこの設定項目はありません)
常にスケーリング:
常にスケーラーを ON にします。
内部同期で動作します。本体 LED は青になります。

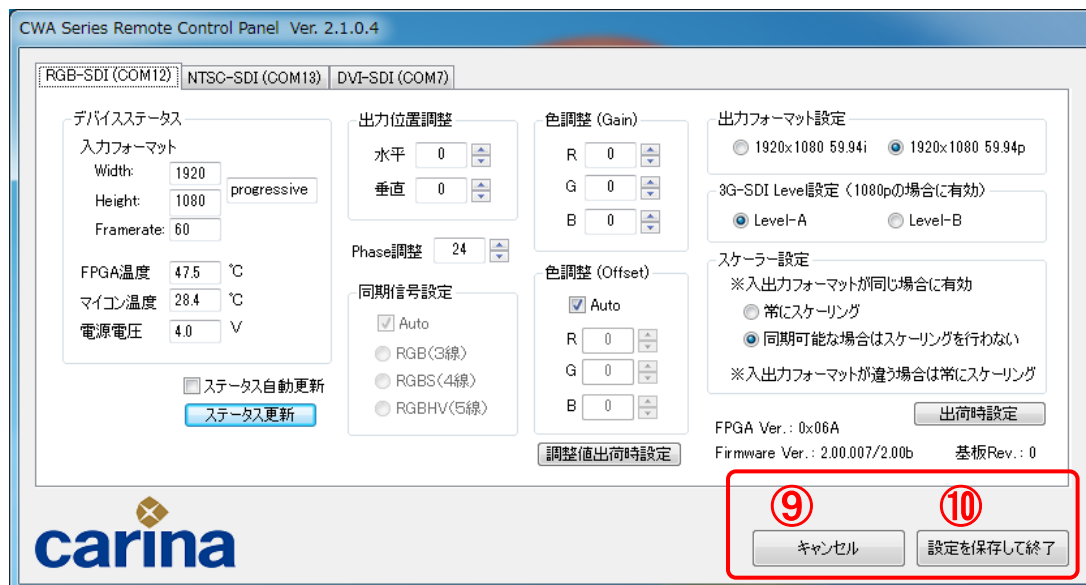
同期可能な場合はスケーリングを行わない:

同期可能な信号の場合は、スケーラーを通らず、入力同期で動作します。
本体 LED は緑になります。より遅延が少ないモードになります。
※入力同期できない信号の場合は、自動的にスケーラーが ON になります。
この場合本体 LED は青になります。

※入出力フォーマットが同じというのは、入力信号が 1920x1080 59.94Hz の場合を指します。インターレース/プログレッシブは問いません。

- ⑧ 出荷時設定ボタン:
出荷時設定にします。以下の設定値になります。
- ・1920x1080 59.94p
 - ・Level-A
 - ・同期可能な場合はスケーリングを行わない

2.4. アプリケーション終了操作(全機種共通部分)



これらの2つのボタンは、タブで見えている全てのデバイスに適用され、アプリケーションを終了します。

⑨ **キャンセルボタン:**

変更した設定／調整項目をキャンセルし、アプリケーション起動時の状態に戻します。
本体 Flash に記憶されている内容も書き換わりません。

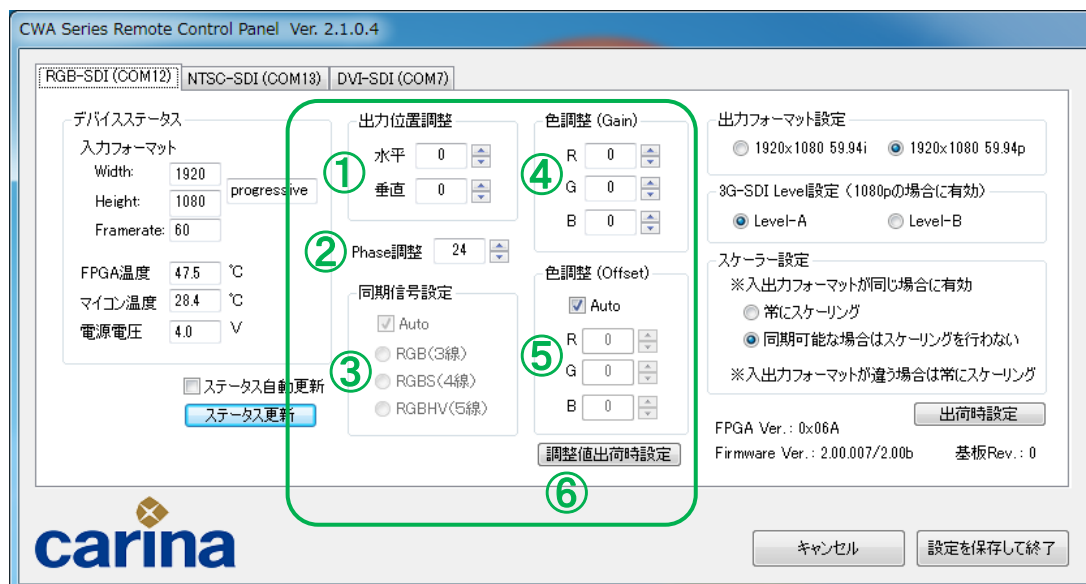
⑩ **設定を保存して終了ボタン:**

現設定／調整項目を本体 Flash に書き込みます。
(デバイス本体に記憶されます)

2.5. 画質等の調整操作(機種依存部分)

2.5.1. CWA-RGB-SDI 独自の調整項目

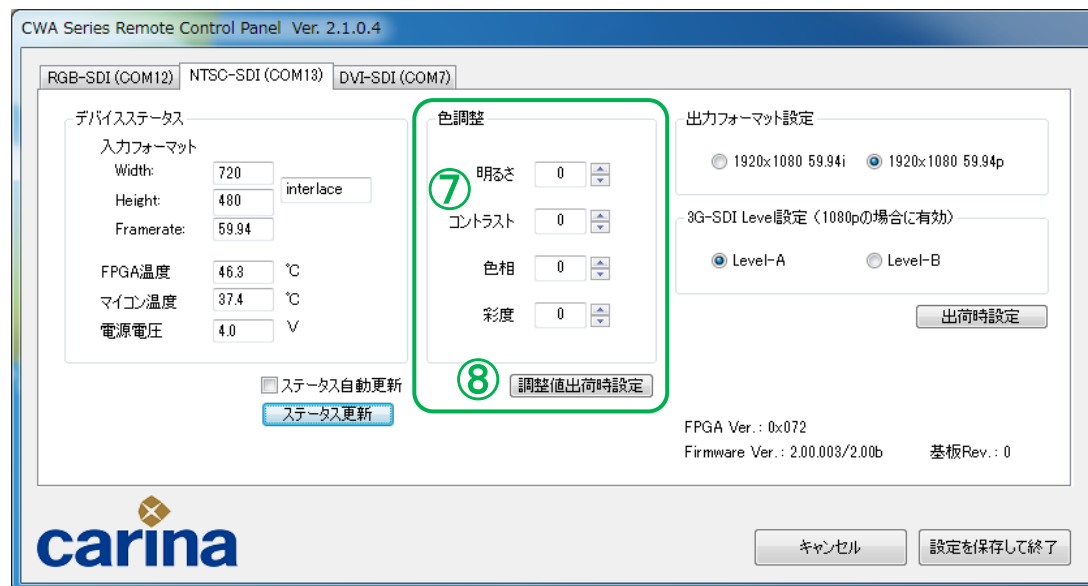
CWA-RGB-SDIにおいて、以下の項目の調整が可能です。
調整値は入力信号フォーマット毎にデバイスに記憶します。



- ① **出力位置調整:**
映像の水平、垂直出力位置を調整します。
入力信号フォーマットに依存する調整限界値を超えた場合は、数値を変更しても変化の無い領域があります。
- ② **Phase 調整:**
A/D 変換時の Phase 値を調整します。
- ③ **同期信号設定:**
入力映像信号の同期信号設定を行います。
※現バージョンではこの設定は Auto(自動)に固定されており、変更できません。
- ④ **色調整 (Gain):**
出力映像の Gain 値を調整します。
- ⑤ **色調整 (Offset):**
出力映像の Offset 値を調整します。
- ⑥ **調整値出荷時設定:**
上記調整項目を出荷時設定にします。

2.5.2. CWA-NTSC-SDI 独自の調整項目

CWA-NTSC-SDI において、以下の項目の調整が可能です。



- ⑦ 色調整:
明るさ、コントラスト、色相、彩度を調整します。

- ⑧ 調整値出荷時設定:
上記調整項目を出荷時設定にします。

2.5.3. CWA-DVI-SDI 独自の調整項目

CWA-DVI-SDI において、以下の項目の調整が可能です。

CWA Series Remote Control Panel Ver. 2.2.0.0

DVI-SDI (COM7)

デバイスステータス

入力フォーマット

Width: 1920 progressive

Height: 1080

Framerate: 59.94

FPGA温度: 48.3 °C

マイコン温度: 43.8 °C

電源電圧: 11.8 V

☐ ステータス自動更新

☐ +5V Cable Detectをチェックしない ⑨

出力フォーマット設定

☐ 1920x1080 59.94i ☒ 1920x1080 59.94p

3G-SDI Level設定 (1080pの場合に有効)

☒ Level-A ☐ Level-B

スケーラー設定

※入出力フォーマットが同じ場合に有効

☒ 常にスケーリング

☐ 同期可能な場合はスケーリングを行わない

※入出力フォーマットが違う場合は常にスケーリング

FPGA Ver.: 0x084

Firmware Ver.: 2.02.000/2.00b

基板Rev.: 0

キャンセル

設定を保存して終了

carina

⑨ +5V Cable Detect をチェックしない:

通常はこのボタンにチェックをつける必要はありません。

+5V Cable Detect 信号が無いような特別な入力信号の場合、このボタンにチェックを付けることで、入力信号が認識できるようになることがあります。

2.6. エラー及び警告表示について

2.6.1. デバイスとの通信エラーが起こった場合

各デバイス(コンバータ)とアプリケーションは USB ケーブルを通じて通信を行います。

アプリケーション起動後に、USB ケーブルを抜くなどして通信が失敗する場合は、エラーダイアログを出して、該当デバイスのタブを強制クローズします。

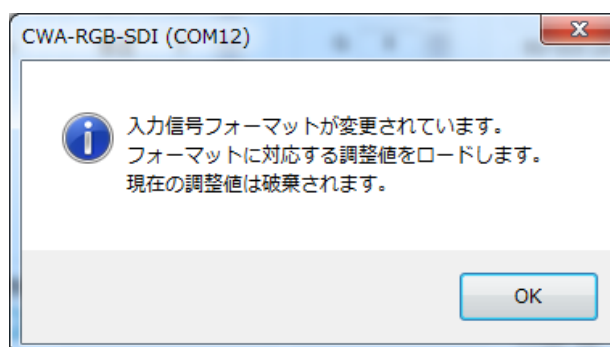


※一度 USB ケーブルを抜いてしまった場合は、再度接続しても通信できなくなります。
その場合は再度アプリケーションを起動しなおす必要があります。

2.6.2. 入力信号フォーマットが変更された場合 (CWA-RGB-SDI のみ)

入力信号フォーマット毎に設定値を覚える仕様の為、入力信号フォーマットが変わった場合は、デバイスは自動的にそのフォーマットで保存されているパラメータをロードします。

その為、その時にアプリケーションで設定されているパラメータ値は破棄されます。
各設定操作、ステータス更新をした際にその旨の警告ダイアログが表示されます。



- 予告なく仕様または外装の一部を変更することがあります。
- カーリーナシステムおよび当社製品の名称は、商標または登録商標です。

製品のご相談や修理のご依頼は、販売店へお問い合わせください。

購入販売店名
〒
電話番号 () -

カーリーナシステム株式会社

〒651-0094
神戸市中央区琴ノ緒町 2-2-11
<http://www.carinasystem.co.jp>
発行日: 2016 年 11 月 22 日

©2016 Carina System Co., Ltd.
Doc# MWA6053102-03